



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

2014年
1月12日号
新年特集

ご意見・ご要望をお寄せください

発行／日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』<http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>



1月1日、照国神社前で街頭宣伝するまつざき真琴県議

ごあいさつ 新年明けましておめでとうございます。今年、暖かく穏やかなお正月でしたが、みなさんは、どのような思いで新年を迎えられましたでしょうか。

今年、消費税増税、原発の推進、TPPの推進、沖縄新基地建設のゴリ押し、憲法改定に向けた動きなどの安倍政権の暴走と、国民のたたかいが激突する年になります。

県政においては、川内原発の再稼働をめぐる重大な局面を迎えることとなります。さらに、知事のスーパーアリーナ構想や桜島トンネルなどの税金のムダ遣いを許さず、

県民の暮らしや福祉を守るたたかいが求められます。

私は、今年も、みなさんの思いをしっかり受け止め、みなさんの願い実現のために奮闘する決意です。どうぞ、本年もよろしく願いいたします。

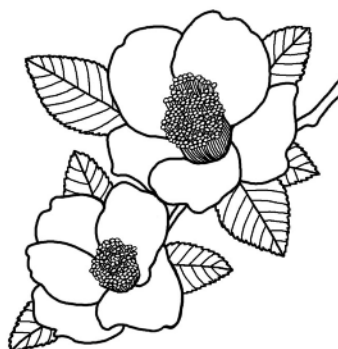
議員定数問題 どう考える？

県議会では、来年4月に選挙を控え、今、定数についての検討が進んでいます。議会の定数問題は、民主主義の根幹に関わる問題です。議会制民主主義の下で、有権者は自分の意見の代弁者として議員を選びます。住民の多様な意見を反映できる選挙のしくみが必要です。

県内の市町村においては、平成の大合併が進み、市町村議会の定数が大幅に削減されました。例えば、鹿児島市において、1市5町が合併となり、旧吉田町の出身議員は2名、旧喜入町は1名となり、旧郡山町、旧松元町、旧桜島町出身の議員は、0になりました。もちろん、議員の仕事は出身地域の事ばかりを扱うものではありませんが、合併以前は旧5町で計82名の数の議員がいた地域が、たった3名の議員になってしまったわけで、その地域独自の要求の代弁者がいなくなったということになります。

議員一人当たりの人口が少ないほど、意見の聴取は容易になります。住民の声が聞こえ、住民に声が届く議会にするためにも、議員定数の削減はすべきでないと考えます。

また、選挙区については、鹿児島県においては、21の選挙区の内約半数の12が一人区となっています。これでは、住民の多様な意見を反映できません。一人区を無くして、様々な意見が反映できるような議会にすべきだと考えます。



2011年4月10日実施の県議選の定数並びに選挙区

選挙区	議員数
鹿児島市・鹿児島郡区	17人
鹿屋市・垂水市区	4人
枕崎市区	1人
阿久根市・出水郡区	1人
出水市区	2人
指宿市区	1人
西之表市・熊毛郡区	1人※
薩摩川内市区	3人
日置市区	2人
曾於市区	1人
霧島市・始良郡区	4人
いちき串木野市区	1人
南さつま市区	1人
志布志市・曾於郡区	1人
奄美市区	2人
南九州市区	1人
伊佐市区	1人
始良市区	2人
薩摩郡区	1人
肝属郡区	1人
大島郡区	2人

※当分の間2人